

KYOTO CITY ZOO

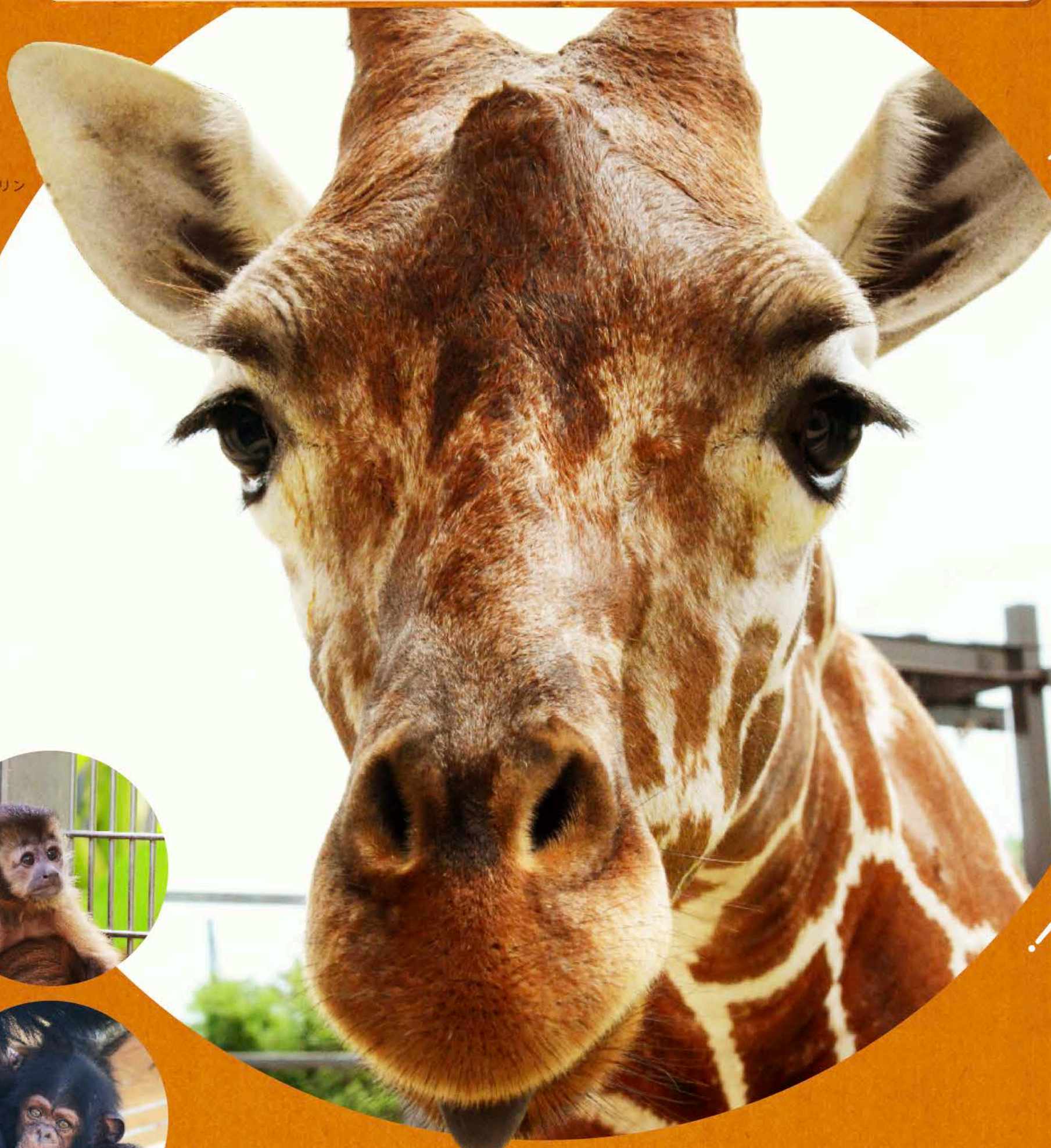
[京都市動物園]

動物園だより

2018
No.186
AUTUMN

題字:京都市長 門川大作

キリン



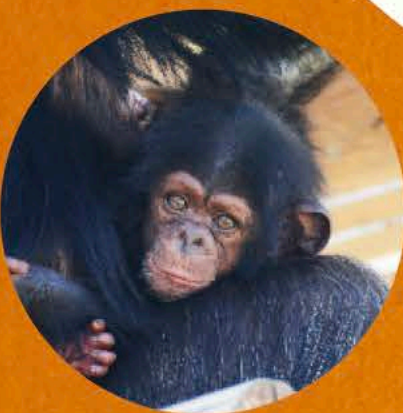
京都市動物園の「ニューフェイス」続々登場!

会いに来てね!

フサオマキザル



チンパンジー



市民による自治120年



特集 動物の「お引っ越し」の話



飼育員だより ローラの出産



今号のPick Up!
海外の動物園との連携

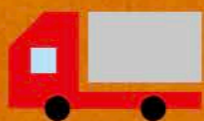


あのね! どうして!?
「動物はどうやって赤ちゃんを産むんですか?」



特集：動物の「お引っ越し」の話

6月末に山口県の動物園からキリンの「イブキ」がやってきました。フェネックの「マッチ」も、今年東京からやってきた「転校生」です。反対に、昨冬には、京都市動物園で飼育していたツシヤママネコ2頭が長崎県と東京都の動物園に「お引っ越し」しました。動物たちの引っ越しにはどんな意味があるのでしょうか？



動物を絶滅から守る

ゾウ、キリン、ゴリラ、レッサーパンダなど、動物園でごく当たり前のように見られる動物の多くは、実は野生の環境では絶滅の危機に瀕しています。動物園には絶滅危惧動物の保全の役割があるため、繁殖させ、個体数を増やす努力をし

ています。ほとんどの「お引っ越し」の大きな目的はここにあります。移動する動物たちの多くは、未来のパパ・ママ候補なのです。繁殖には動物園同士の協力が欠かせません。動物たちが動物園間を行き来することで、遺伝的な多様性を維持します。



ぼくも、将来のパパ候補だよ。

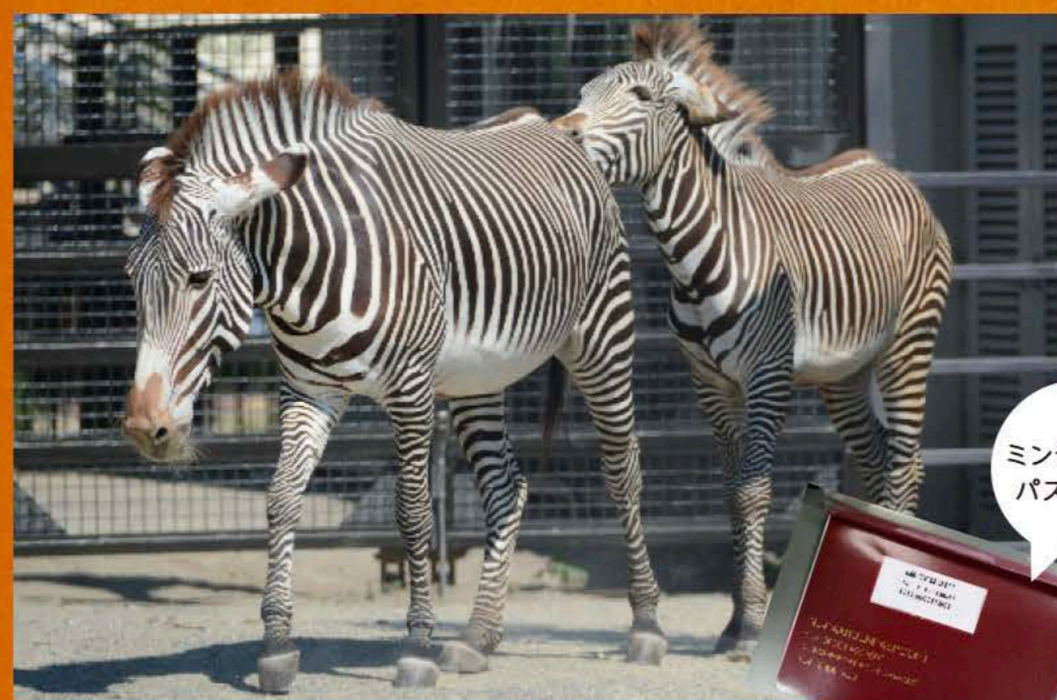
イブキは現在1歳。まだまだ子どもです。



今号のPick Up! 海外の動物園との連携



「将来、動物園から動物の姿が消える!？」そんな話を聞いたことはありませんか？「いやいやまさか!」と思うかもしれませんが、でも、実は「冗談」とも言い切れない事態が迫っています。そうならないためにも、国内外の動物園と連携し、協力していくことが大切になってきています。



ミンディーのパスポート

グレイシーマウマのミンディー(左)はオランダからやってきました。パスポートも持っています。いっしょにいるのは息子のミントです。



ヤプイヌのデンマル(左)はデンマークの動物園から、パパヤ(右)はイギリスの動物園からやってきました。

動物園を訪れると、ゾウやキリン、ゴリラ、トラなど、日本には生息していないたくさんの動物に出会うことができます。動物園は、子どもにとっても大人にとっても、世界中の動物との接点がある場です。しかし、動物園が今後も同じようにさまざまな動物を飼育し、展示し続けるためには、常に「次世代」が必要です。当然のことですが、今動物園にいる動物はいずれ年をとっていきます。一方、動物園で暮らす動物の

多くは、本来の生息地では絶滅の危機に瀕しており、そのような動物を野生で捕獲し、連れてくることはできなくなっています。国内の動物園は、繁殖を目的にブリーディングローンを行うなど既に協力していますが、近親交配を避け、遺伝的な多様性を保つためには、海外の動物園とも協力し合わなければなりません。この5月、京都市動物園は、動物福祉や倫理規定にかかわる厳しい審査をクリアし、

WAZA(世界動物園水族館協会)への加盟が承認されました。国内では9団体目です。これまでも海外の動物園から、絶滅が危惧されているグレイシーマウマや、ヤプイヌの寄贈を受けてきましたが、WAZAへ加盟したことで国際的な信頼を一層得やすくなりました。今後も、国内および世界中の動物園との連携を強化し、希少動物の繁殖や研究などの取組を進めていきます。

ニシゴリラ



京都市動物園生まれ

ガンタロウ

チンパンジー



ロジャー

「お引っ越し」で誕生した子どもたち

多くの赤ちゃんが、「お引っ越し」の結果生まれています。京都市動物園生まれでは、ニシゴリラの「ガンタロウ」、今夏生まれたチンパンジーの「ロジャー」などなど。しかし、新しいペアができても、必ずしも赤ちゃんが誕生するわ

けではありません。また、新しい個体に引っ越してきてもらうまでには膨大な手続きが必要です。そのため、担当者だけでなく、送り出した動物園を含む、関わったすべてのスタッフにとって、元氣な赤ちゃんが生まれたときの喜びはひとしおなのです。

※モモタロウ、ジェームス、ローラはブリーディングローン(繁殖を目的とした貸借契約)により他の飼育施設からやってきました。

「お引っ越し」のための練習

「お引っ越し」で移動する間、動物は輸送箱に入らなければなりません。テンジクネズミのように小さなケージに入る動物ならさほど苦勞はありませんが、大きな動物は何日も前から箱に慣れる練習をします。自分から進んで箱に入ってくれるようになれば、動物もス

タッフも安全に引っ越しの準備ができます。箱に好きな餌をつけるなど、ストレスを軽減させる工夫もしています。トラなどの猛獣は基本、麻酔をかけて輸送箱に収めますが、最近ではできる限り動物に負担なく誘導できるようにトレーニングを行っています。

引っ越し前から箱に慣れる練習をします。



当日は箱ごとトラックで移動します。

※これは2016年にアラシが移動するときの様子です。



繁殖のための飼育環境整備

動物たちが落ち着いた環境で子どもを産めるよう工夫をしています。

群れで飼育する



京都市動物園のチンパンジーは、複数のオスと複数のメスからなる「群れ」で飼育しています。このように、野生に近い環境を提供することで、繁殖成功例が増えてきました。生まれた子どもたちは、群れの中で必要なことを学んでいきます。

巣箱を工夫する

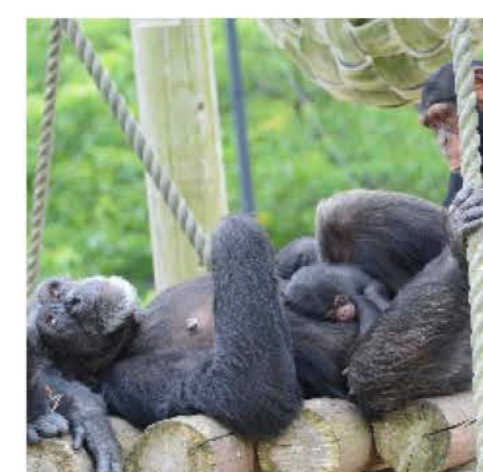


すぐに自力で動けないくらい小さな赤ちゃんを産む動物たちの多くは、静かな場所や巣で出産します。京都市動物園のレッサーパンダやヤプイヌにも、来園者から見えない場所に巣箱を作り、落ち着いて出産できるように工夫しています。

飼育員だより ローラの出産

種の保存展示課 板東はるな

6月13日にチンパンジーのローラが赤ちゃんを出産しました！ローラは一昨年にも一度出産しましたが、赤ちゃんが少し未熟な状態だったため、残念ながら次の日に死亡するという経験をしました。その後なかなか妊娠せずもどかしく思っていたのですが、急にグレイプフルーツを食べなくなり、小松菜をよく食べるようになりました。前回の妊娠の時と同じ兆候が見られたため、妊娠検査をしたところ、昨年の10月末に今回の妊娠がわかりました！出産予定日から1週間ほど過ぎた頃、毛がふさふさの元氣な赤ちゃんが生まれました。ローラはしっかりと赤ちゃんを抱き、お乳もちゃんとあげていました。群れの仲間たちもそっと赤ちゃんに触らせてもらい、お父さんのジェームスは門番のようにローラから離れません。赤ちゃんは力強くお乳を吸っていてどんどん大きくなっています。ぜひ、かわいい赤ちゃんを見に来てくださいね！



あのね! どうして!?

動物はどうやって赤ちゃんを産むんですか？

お母さんのお乳を飲んで育つ動物は、お母さんのおなかの中にある間に栄養をもらって大きくなります。そして、赤ちゃんの形になるまで育つと、生まれてきます。鳥やカメ、カエル、魚の仲間は、お母さんが産んだ卵の中にいますが、初めはとても小さい体なので、卵の中の栄養を使って大きくなります。赤ちゃんの形になると卵の殻を割って生まれてきます。

動物園の「御意見箱」に寄せられた、動物に関するいろいろな質問とその回答を御紹介しています。過去の回答は動物園のホームページや、「図書館カフェ」の動物園コーナー(西側の本棚)にあるファイルでも御覧いただけます。



動物園で楽しい体験，盛りだくさん！ イベントのお知らせ



10/6(土)～10/8(月・祝) 夜間開園

開園時間を20:00まで延長。夜の動物園を楽しんでいただけます(入園は19:30まで)。



10/6(土)9:45～10:25 11/3(土・祝)9:45～10:25 要事前申し込み

園長さんとお散歩

園内の動物・樹木・草花など、動物園の魅力を動物園長が楽しく案内します。



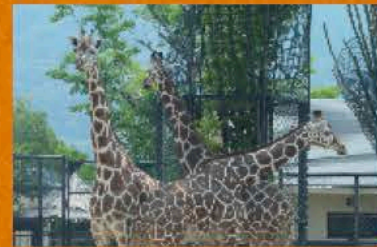
10/6(土)17:00～ オータムコンサート

京都市消防音楽隊の皆様による演奏をお楽しみいただけます。



11/23(金・祝)13:30～ キリンさんのお宅拝見

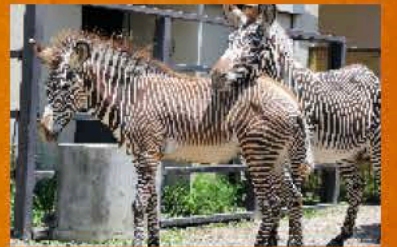
普段は入ることのできないキリンの寝室を見ることができます。



12/9(日)13:30～ 要整理券

シマウマさんとなかよし

担当飼育員によるグレイビーシマウマのお話が聞けるほか、餌やり体験ができます。



10/20(土)～21(日) 楽しく学んでツシマヤマネコを守ろう！ やまねこ博覧会

絶滅の危機に瀕しているツシマヤマネコの現状や、その保全に関する取組をより深く知っていただくため毎年開催している催しです。講演会や紙芝居など、さまざまなプログラムがあります。詳細は動物園のホームページを御覧ください。



11/18(日) 動物園でしかできない体験をしよう！ 一日動物園体験 要事前申し込み

参加費 2,000円(別途、動物園入園料 600円が必要です)
※高校生以上の方対象

カバやキリンなどの動物舎のそうじや餌作りなどの体験ができるほか、普段は入ることのできない動物園の裏側(バックヤード)を見学して、動物と動物園について学びます。定員は20名です。



動物園よりお知らせ

誕生しました！



6/13
チンパンジー「ロジャー」(オス)

新しい仲間が増えました！



6/26
キリン「イブキ」(オス)周南市徳山動物園から来園。

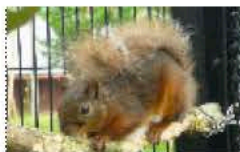


7/11
ケープハイラックス「ポテチ」(メス)よこはま動物園ズーラシアから来園。

お別れました



6/1 死亡
フンボルトペンギン「ナズナ」



6/14 死亡
ニホンリス「イノスケ」



6/16 死亡
テンジクネズミ「チェリー」



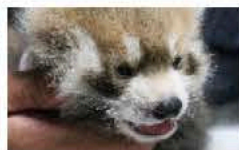
6/18 死亡
マダガスカルミドリヤモリ



7/12 死亡
フンボルトペンギン「ハコベ」



7/13 死亡
ミーアキャット「チャック」



7/29 死亡
レッサーパンダ(6/21生まれのコドモ)

御支援ありがとうございます。



植彌加藤造園株式会社様，株式会社大幸造園様，吉村造園株式会社様から雨水貯留タンク，三木竹材店様から竹材整備に係る一式をいただきました。ありがとうございます。

その他にも楽しいイベントを開催しています！詳しくはホームページを御覧ください。

京都市動物園 | 検索



京都市動物園

075-771-0210

<https://www5.city.kyoto.jp/zoo/>

開園時間：3月～11月(9:00～17:00)

12月～2月(9:00～16:30)

*入園は開園時間の30分前まで

入園料：一般600円，団体(30人以上)500円，

中学生以下無料，

年間入園券(一般)2400円

休園日：毎週月曜日(祝日の場合は翌平日が休園になります。)，12月28日～1月1日

交通：京都市営バス 5,100,32系統「岡崎公園 動物園前」下車約2分/京都市営バス(京都岡崎ルート)「動物園正門前」下車すぐ/京都市営地下鉄東西線

「蹴上」徒歩約5分・「東山」徒歩約10分



定期購読を希望される方は，82円切手4枚(1年分)を同封して京都市動物園までお申し込みください。

氏名又は名称：京都市長 門川 大作

事業所の名称：京都市動物園

事業所の所在地：京都市左京区岡崎法勝寺町 22

動物取扱業の種別：

展示 京都市登録第 070051号

販売 京都市登録第 070052号

保管 京都市登録第 170004号

貸出し 京都市登録第 170005号

登録年月日：平成 19年 5月 22日

有効期間の末日：平成 34年 5月 21日

動物取扱責任者氏名：岡橋 要

制作：(株)ベネッセコーポレーション

発行：京都市文化市民局動物園

京都市印刷物第 304577号



※「動物園だより」は京都市動物園提案型サポーターである(株)ベネッセコーポレーションから企画・編集の御支援をいただいています。